

回									
覧									

# 丘珠空港ニュース

第12号(平成23年5月1日)  
発行：札幌市市民まちづくり局  
総合交通計画部空港担当課  
電話：211-2378

## 東日本大震災支援に向けて

### 丘珠からも自衛隊ヘリなどが被災地へ

3月11日午後2時53分に宮城県沖で発生したマグニチュード9の大地震に際し、丘珠空港からも自衛隊をはじめとする数多くのヘリコプターなどが被災地に向けて出発しました。今なお、多くの方々が活動中です。



丘珠空港から被災地に向けて飛び立つ自衛隊のヘリコプター

地震発生直後、自衛隊丘珠駐屯地では、丘珠空港から道内の被害状況を映像配信するためのヘリコプターが離陸。東北地方の被害の状況が伝えられると、翌12日早朝には航空機13機が59名の隊員を乗せ八戸駐屯地に向けて出発しました。

丘珠駐屯地からは、これまで300名以上の隊員が被災地にて活動を行い、人員救出・

探索や人員・物資の空輸など様々な任務にあたりました。4月21日現在でも、100名以上

### 道警航空隊も17人の職員を派遣

北海道警察の航空隊も丘珠空港から17人の警察職員を被災地へ派遣(4月19日現在)。現地での救助活動などにあたっています。

このほか、地震当日には丘珠空港から報道機関のヘリが

の隊員が現地で活動を行っています。

数多く飛び立ち、道内の被害の様子などを伝えました。

今回の東日本大震災で被災された皆さまにお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた多くの方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## 空港でのお仕事を体験

### 「丘珠空港きっずわーく」に220人もの応募

小学生を対象に空港でのお仕事を知ってもらう、「丘珠空港きっずわーく」が3月30日開催されました。これは丘珠空港では初めての企画で、28名の募集に対し、220人もの応募がありました。

子どもたちが体験したお仕事は、カウンター業務、手荷物・身体検査などの保安検査業務、飛行機の乗員業務。特に飛行機の乗員業務は、実際にセスナやヘリコプターの操

縦席に座り、ハンドルを握ることができ、子どもたちには大人気でした。

今回の大盛況を受け、空港ビルでは、第2弾を計画しています。

### 恒例の産直市は、5月22日に網走直送

丘珠空港ビルでは、毎月行っている産直市を5月は22日(日)に予定。今回はHACが丘珠から新たに就航した女満別・網走からの産直品の販売



セスナ機の搭乗体験には行列も

を11時半から予定。当日は13時からハンドベルコンサートも予定しています。

イベント等のお問い合わせ  
札幌丘珠空港ビル(株)  
011-785-7871

# 丘珠空港緑地の整備状況

## 苗穂・丘珠通から空港側は4月より供用開始

丘珠空港緑地については、順次整備が進められているところですが、このたび南東地区について一部の供用が開始されました。また、北西・北東地区については3月4日に第2回の説明会が実施され、今後28年度の完成を目指し整備が進められる予定です。

丘珠空港緑地は、「丘珠空港周辺のまちづくり構想」に基づいた、航空機による地上騒音の軽減や排ガスの拡散防止、空港周辺地域の風雪害防止等の緩衝機能に加え、地域のレクリエーションの場を提供することを目的として計画された都市緑地です。

今回供用開始になったのは、南東地区のうち苗穂・丘珠通から空港側のエリア。飛行機の離発着を間近に感じる

ことのできる展望エリアや、雨水貯留施設、緩衝樹林帯などが整備されました。これから夏に向けて、憩いの場としての利用などが期待されています。

## 北西・北東地区説明会では基本設計最終案

3月4日につどーむで開催された説明会には21名の方のご参加をいただきました。

「広大な敷地特性を活かした、ジョギング・ウォーキングコースを主体とする、軽ス



説明会にはお忙しい中、たくさんの方にお越しいただきました

ます。

なお、南東地区の一部については、23年度に残工事がありますので、引き続き、ご協力をお願いいたします。

ポーツエリアの充実」を設計の基本方針とし、展望広場や雨水貯留施設など基本設計の概要が示されました。

参加された方からは、緩衝帯としての効果など様々な点について質問がありました。

北西・北東地区については、23年度から北西地区より公共残土の受け入れを開始し、本格的な造成工事は24年度以降を予定しています。



4月より供用が開始された南東地区の苗穂・丘珠通から空港側のエリア

丘珠空港緑地のお問い合わせ  
札幌市環境局みどりの管理課  
011-211-2525

### 編集後記

南東地区の緑地が4月から一部供用開始になりました。小高い山があり広々として景色も良く、飛行機の離着陸も間近で見ることができます。遊具もあるので、天気の良い日に、子どもを連れて遊びに行きたいと思っています。(担当:鈴木)



さっぽろ市  
05-F 00-11-337  
23-5-55

## HAC新体制へ 6月1日丘珠移転

### 平成22年度収支は大幅な黒字の見込み

HAC(北海道エアシステム)は3月31日に臨時株主総会を開催し、北海道を筆頭株主にした、道内の自治体や企業が出資する北海道全体で支える企業としてのスタートを切りました。

会見の中で、続投となった西村社長は、22年度の収支について過去最高の黒字額にな

ることを明らかにしました。

また、今後の経営については、公共的な役割も担いながら、安定した収益性を確保できる経営基盤の確立を課題として挙げ、更に将来の増機についても今後の状況を見ながら考えていくとしました。

HACは、6月1日に丘珠へ本社移転を予定しています。